福知山市入札監視委員会（　令和６年度　第２回　）議事概要

開催日時及び場所		令和６年１１月２８日（木） 午後２時００分～午後４時１５分 市民交流プラザふくちやま３階　視聴覚室	
出席委員氏名（職業）		委員長　荻野（おぎの）　伸一（しんいち）（弁護士） 委　員　菊田（きくた）　学美（まなみ）（行政書士・特定社会保険労務士） 委　員　吉田（よしだ）　周邦（ちかくに）（公認会計士）	
議事概要		１　議事 （１）令和６年度上半期の入札・契約の実施状況について （２）抽出工事に関する審議について （３）次回抽出委員については後日決定する	
審議対象期間		令和６年４月　１日　～　令和６年　９月３０日	
審議対象件数		［工事］　１３０件	［委託役務業務］　５件
内訳	公募型指名競争入札	３件	
	条件付一般競争入札	４２件	
	指名競争入札	７３件	
	随意契約	１２件	５件
抽出案件数		４件	１件
委員からの意見・質問とそれに対する回答		意見・質問	回答等
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会意見の内容		○抽出案件３の応札者が１者のみとなっていることから、入札参加条件を京都府だけではなく全国に広げる等、多くの業者が参加でき、より高い競争性が確保できるような入札になるよう努力されたい。 ○次回から案件抽出する際のリストに、入札辞退者も記載してほしい。	

別　紙

「1　議事（1）令和６年度上半期の入札・契約の実施状況について」

意見・質問	回　答　等
○随意契約の落札率の高い理由は何か。	物価の上昇が大きかったのではないかと推察する。

「3　議事（2）抽出案件に関する審議について」

1　生学第１０号　大正放課後児童クラブ棟新築工事

…条件付一般競争入札

意見・質問	回　答　等
○放課後児童クラブは、全小学校に設置する計画なのか。また、現在の設置の進捗はどれくらいか。	現在、全部で１５クラブあり、全小学校に１つは設置してある。現状では利用児童数の増加により、部屋数が足りない施設があり、優先順位を付けて、他の空きスペース等を活用して整備を行っている。
○今後、新しく施設を整備する計画はあるか。	整備する施設は、老朽化や部屋数不足による増築等であり、現在の大正放課後クラブの整備後は惇明放課後クラブと昭和放課後クラブの２施設の整備を行う予定である。
○土木工事では落札金額と最低制限価格が同額又は小差となる場合があるが、本工事は２００万円程の差額となっているのは営繕工事によるものか。	本工事は建築の営繕工事であり、積算ソフトを使った正確な積算や見積りを公表している土木工事と違い、見積りを含めた細かな設計根拠が非公表となっており、正確な予定価格の算出が難しいため、最低制限価格と落札金額に差が出たと考える。
○営繕工事の見積りは公表しないものなのか。	本市は、京都府の積算体系に準じており、京都府の営繕工事の見積り等は公表されていないため、市も同じく公表はしていない。
○事後公表は、項目を細かく公表するのか。また、公表することによって今後、営繕工事も正確な積算が出来るようになるのか。	公表は、予定価格を事後で公表するのみである。ただ、多くの業者はその後、開示請求を行い細かな設計内容を確認し、今後の積算に役立てていると推測する。

２　水道工第５号　水道管路緊急改善事業　堀山第３配水系統送配水管布設替工事

…公募型指名競争入札（JV 方式）

意見・質問	回　答　等
○落札業者と他者との入札価格の差額が僅か１万円であるが、金額や見積り内容はもとより、品質面も比較考慮したうえで、決定されているのか。	入札では、提出された内訳書について、必要な項目が抜けていないか等を確認し、不備がなければ金額比較で判断している。
○入札参加条件で、水道施設のＡ等級に登録された市内本社本店を有する業者と特定建設業の許可を持つ業者は何者あるのか。	水道施設の Ａ 等級に登録している業者は３２者で、そのうち特定建設業の許可を持つ業者が２６者あり、これらが代表構成員の登録ができる者となる。
○工事金額が２億円を超えると JV 方式になり、参加者も水道施設ということで少なくなると思うが、今回、入札参加者が３共同企業体のみであり、多数の入札参加者による競争性が十分に働かないのではないかと懸念される。	複数者での入札が成立しており、競争性は確保されていると考える。
○JV 方式で、２者で協定書を取り交わす時の出資割合の基準はあるか。	福知山市建設工事における共同企業体運用基準の第７条による出資比率要件によると、特定建設工事共同企業体（甲型）の出資比率の最小限度基準で２者の場合３０％以上と決めており、３０：７０となる。
○既存の水道管はどのように処理されたのか。	今回の工事は、管の布設替えで支障になる区間以外は、山の中であり市所有地でもあるため、撤去はしない。
○既設管の撤去はなしということだが、環境的に問題はないか。	問題ない。

３　病総第５０１号　市立福知山市民病院　中央監視制御装置更新工事

…公募型指名競争入札（JV 方式）

意見・質問	回　答　等
○既存の中央監視装置を設置した業者は、今回と違う業者なのか。	違う業者である
○今回の更新箇所は、どこになるのか。	既存の中央監視室で、監視装置盤の中の機器を取り換える。
○更新する装置は、特殊なもので特定の業者でしか扱えないものなのか。	装置は特殊な制御装置で、特に信号を送るプログラミングに関しては各メーカーの独自性があり、互換性があるものではないため、特定の業者でしか扱えないものとなっている。
○今回、入札参加者が１者であった要因は何か。また、入札条件は複数参加できるような条件であったのか。	既設の装置を新規で取り換えると複数の参加が考えられるが、病院は運営上常に稼働している状況で多くの調整や準備が必要となり、少なくとも半年以上工事が掛かってしまう。病院という性質上、２４時間稼働している状況があり、患者の安全を第一として施工していけることが必要なため、既設の施設の切れ目のない更新をするというところで、参加者が少ないのではないかと推測する。 今回の入札では、公募型指名競争入札方式にしており、競争性は図られている。
○入札では、競争性を図る観点から１者は避けるべきであり、競争性を図れるように、入札参加者を京都府だけではなく全国に広げて、病院を得意とする業者など、多くの業者が参加できるような入札条件にしてはどうか。	京都府内に本社、本店若しくは支店若しくは営業所を有し、電気の経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の総合評点値が８４０点以上の者を代表構成員及び市内に本社若しくは本店を有するＡ等級の者を構成員とする２者の組合せとし、この条件で、府内には４７者、市内本店・本社５者、営業所６者の計５８者ある。 病院ということで、過去５年間に病床数３００床以上で同規模の契約又は２年以上の維持管理業務実績があることとし、過去５年間に病床数３００床以上で同規模の契約で該当する者は１２者あり、２年以上の維持管理業務実績がある者が２５者あり、競争性は図れているものと考えるが、結果１者のみの参

	加になった。今後は、複数の参加者があるように入札条件等検討をしていきたい。
○次回から、案件抽出する際のリストに入札辞退者も記載してほしい。	了解した。

4　市民第２号　福知山市斎場　火葬炉設備改修工事

…随意契約

意見・質問	回　答　等
○当初、炉自体は今回の業者が設置したのか。	２８年前に新設しており、今回と同じ業者で、毎年特許の関係で維持管理をしてもらっている。
○特許は、他の業者も入ることができるものなのか。	建設時の特許の関係で、他の業者は入れない。
○予定価格の妥当性はどう判断されたか。	判断基準となる見積りを事前に徴収し、諸経費を国交省営繕積算基準により積算している。
○１０年に１度の改修だが、スパンを１５年に延ばすことは可能か。また検討されたか。	年間３６５日の内元旦の１月１日のみ休みで稼働しており、炉内の微妙な火力調整が必要であり、また２層目の外側の金属部分まで改修になると炉の総入れ替えとなるため、１０年１クールで改修している。
○予定価格の見積りは、業者の見積りを参考にしているのか。また、今回予定価格と請負金額に差が出たのは何故だと思うか。	業者からの見積りを参考に、諸経費を国の基準で積算している。 差額については、国の諸経費が見積りより高い分、差が出たのではないかと推測する。
○落札率は、これまでどのくらいで推移しているのか。	前回も同じくらいだったと思う。
○予定価格をこれ以上、下げることは無理なのか。 随意契約では、落札率が大きく下がることがあり、制度上疑問に思うが、何らかの工夫ができないものか。	市全体で、予定価格を国の基準をもとに設定しているため、下げることは考えていない。 随意契約は予定価格を公表していなく、最低制限価格も設定していない。

5　福知山市新文化ホール基本計画再検討支援業務委託

…公募型プロポーザル方式

意見・質問	回　答　等
○今回の業務は何をするのか。	令和５年７月に策定した「福知山市新文化ホール基本計画」について、今後、新たに再検討委員会を設置し、市民の意見を聞きながら、機能、規模、場所、スケジュール等、基本計画のすべてについて見直しを行うために使用する資料作成等の支援業務になる。
○基本計画の再検討の財政シミュレーションとは何を検討するのか。	新文化ホール整備が市の財政に与える影響について、建設費及び建築後の維持管理費等も含めた財政シミュレーションを作成し、再検討委員会の資料として使用する。
○抽出事案説明書の選定経過の委託上限額はどうやって決めたのか。	市の類似した業務等を参考に積算している。
○業務期限はいつまでか。	令和７年３月２５日までである。
○業務の仕様書で、財政シミュレーションや施設の劣化度調査などもう少し重点的に記載されれば、監査法人など複数の応募があったのではないか。	今回の設計事務所の共同企業体は、過去に建設プランのシミュレーションや劣化度調査についても実績があり、監査法人の事務所も財政分析やコストシミュレーションの実績がある。 今回もう少し、監査法人の会社が応募してくるかと思っていたが、今後発注が想定される設計業務の関係もあり、施設の設計に重点を置いた設計事務所の応募が多くなったと推測している。